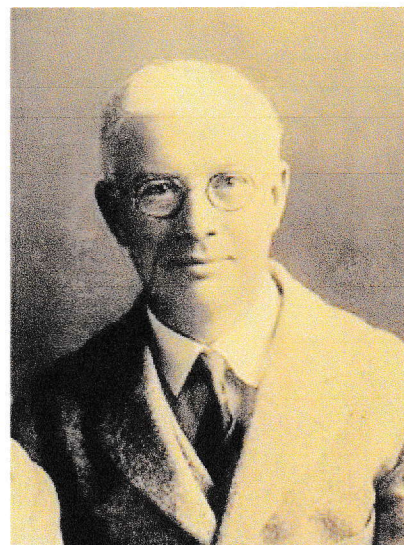


## ウィリアム・メレル・ヴォーリズ

1880年

アメリカ合衆国に生まれる。病弱であったヴォーリズは、雄大な自然に囲まれたアリゾナ州で少年時代を過ごす。音楽に興味を持ち、ピアノや作詞作曲などの才能にも恵まれていた。

高校卒業後、コロラド大学に入学、建築家を目指しながらキリスト教の世界へと入っていく。



1902年（明治35年）

「海外伝道学生奉仕団」世界大会にコロラド大学代表として出席した際、宣教師のティラー女史の講演に深く感動し建築家の道をあきらめ、外国への伝道活動を決意する

コロラド大学卒業後、北米 YMCA から日本の滋賀県が英語教師を求めているという手紙が届き、ヴォーリズは海を渡り日本の滋賀県近江八幡に行くことを決心する

1905年（明治38年）

1月29日 ヴォーリズ来日（横浜港）

2月2日 汽車にて八幡に到着する（近江八幡市）

滋賀県立商業学校（現在の滋賀県立八幡商業高校）の英語教師として着任

※滋賀県立商業学校は明治19年に創設、当時は、大津市船頭町に所在、明治34年に八幡に移転、41年に八幡商業と改名している

同じ年からヴォーリズは膳所中学、彦根中学、長浜農学校においても英語の教師（講師）を始める



4月8日ヴォーリズは膳所中学（現在の膳所高校）の英語講師の初日を迎える（当時は、滋賀県立第二中学校と呼ぶ）

毎週木曜日、一日に4時間の授業（主に上級生—4年生5年生）を担当、当時の給料は35円/月

放課後には、学校近くに部屋を借り、英語聖書のクラス（[バイブルクラス](#)）を講師初日からスタートさせている（このバイブルクラスからは、のちに多くの偉人を発掘するが、その一人が清水安三である）

1907年（明治40年）2月

八幡にキリスト教青年会館を設立するが、3月には商業学校を免職となる

吉田悦蔵の「近江の兄弟等」の中にこのように記されている

ヴォーリズの「その教授振りと学生の陶冶に関することは全然満足さるべきものであった。同氏が解職されたのは、県民の反対意志により、即ち聖書を教えて学生達をキリスト教に到る様に感化したることを以て県民の大部分なる仏教徒諸君の反対意志により解職した」と。

膳所中学の英語講師も同じ時に解職となっている

当時の校長は、堤寛といって、大変厳格で熱心な教育者であったことは卒業生の手記からもうかがえるが、堤校長はクリスチャンというわけではなかったが、自ら新約聖書を講じられることもあったほど、ヴォーリズの教授にも理解を持っていたのではないかと考えられる

ヴォーリズ在籍期間、明治38年4月～明治40年3月であった。



解職後のヴォーリズは、貧困に陥る。毎日祈りをささげ、神の恩寵を信じ近江八幡で伝道活動が続けてゆく決意をする。

1908年（明治41年）

京都三条のYMCAの建築現場監督に採用される

建築に伝道活動の経済的な基盤を見出すとともに、ここから彼の建築家としての道が開かれる

1911年（明治44年）

八幡商業高校出身の吉田悦蔵とともに近江ミッションを結成、本格的な伝道事業がスタートする



1914年（大正3年）

A.A.ハイドの支援で琵琶湖を縦横に駆け回る発動機船ガリラヤ丸が進水  
琵琶湖沿岸の人々への伝道の基礎を作り上げていく

1918年（大正7年）

教慈善強化財団を設立

翌年近江療養院（現在のヴォーリズ記念病院）が開院



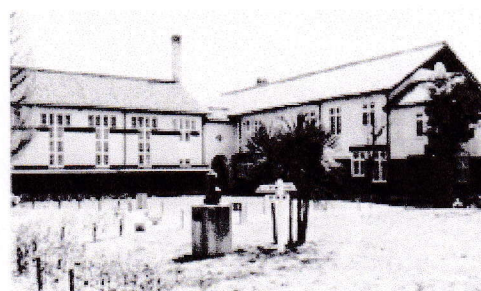
1919年（大正8年）

一柳満喜子と結婚、満喜子の熱心な保育・教育への取り組みもあり、翌年には、近江セールス株式会社を設立し、メンソレータム（A.A.ハイドが開発した家庭薬）の輸入販売を開始する。メンソレータムの効能書の片隅にはキリスト教の道への案内がつけられており、販売増大とともに通信伝道の会員も増していった

1934年（昭和9年）

近江ミッションは近江兄弟社と改称される。

伝道事業・建築設計・メンソレータム販売の事業を継続しつつ、幼稚園や女学校の設立、県下の各地に教会を設立する



1941年（昭和16年）

ヴォーリズは、日本国籍を取得、一柳米来留（ひとつやなぎめれる）と改名

その後、東京帝国大学（現在の東京大学）や京都帝国大学（現在の京都大学）、また同志社大学などで講師を務める

1964年（昭和39年） 7年の病床の末、83歳でその生涯を終える

ヴォーリズの残した建築物は数知れず、2014年（平成26年）には、神戸女学院大学の建物群がヴォーリズ建築初の重要文化財に指定される

<参考文献> 樽田功（1984）『滋賀県の百年』山川出版社、W.M.ヴォーリズライブラリ、新女苑 第三巻 第五号「私の先生ウィリアム・メレル・ヴォーリズ」清水安三